

(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想に関する市民説明会
意見交換録④

- 1 日 時 令和3年(2021年)6月26日(土) 15:00~16:00
2 場 所 市役所会議室 201
3 市出席者 市長、市民部長、市民部次長
スポーツ振興課長、課員2名
スポーツ施設整備室長、係長、係員1名
4 一般参加者 10名

5 内 容

(1)説明内容

令和3年4月に策定した(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想について説明した。

(2)質疑・意見交換(●:参加者、○:市)

- 多目的に使えるような施設とあるが、今の時点でどのような案があるのか。ゼヒラグビーもできるようにしてもらいたい。
→○インフィールドを天然芝にする予定で、サッカーやグランドゴルフなどができると考えている。また、管理運営の中で、陸上教室など人が集えるようなことを想定している。広さとしてはラグビーも十分可能である。

- 既存の施設が老朽化している中で、既存の施設を合わせてどのように考えていくのか。荃崎運動公園や桜運動公園の再整備という考えはないのか。新しい施設を建てることについて、施設のマネジメントとしてどのように考えているのか。
→○施設全体のマネジメントは非常に重要な視点で、多くの施設が老朽化している。市全体のインフラ更新費用は、40年間で8,000億円かかる見込みである。そのような中で新規施設の建設は絞る必要があるが、今回の陸上競技場は例外的であると考えている。既存施設の更新については修繕を計画的に行う必要がある、公共施設マネジメントの新しいシステムを入れて、市全体の施設に関する修繕の優先順位をつけることを始めている。荃崎運動公園については可能性の一つとして考えたが、そこの面積だと今回想定している規模のものは難しいこともあり、上郷高校を候補地とした。今後も施設全体の在り方については、慎重に様々な精査をしながら優先順位を付けて

いきたいと考えている。

- 大規模事業評価について、1回開催したら終わりなのか、どのようなメンバーで、どのような議論をするのか。

→○大規模事業評価は、市が主体となって整備する総事業費が10億円を超える全ての事業を対象に行うもの。まず今回の基本構想についての自己評価調書を作成し、内部評価を行う。その上で、外部有識者で構成される大規模事業評価委員会に諮問し、答申を得る。メンバーは、会計士、弁護士、環境関係の専門家、大学教授などである。1回会議を行って終わりではなく、最低でも5～6か月かけて複数回議論をして、委員の方からの質問を受けながら行う予定である。今回が初めてなので、委員の方がどのような資料を必要とされるかによるが、丁寧に行ってもらいたい。

- 総合運動公園の話も30年位前から出ており、議員や委員の方を中心に様々な協議・検討がされてきた結果ここまできた。上郷高校は閉校になってから何も決まらずにいたが、今回、陸上競技場の整備候補地となった。地元の間人として、上郷活性化の一つの糧と考えているし、市西部の活性化にも繋がると考えている。市のために、地域のためになる陸上競技場を整備してもらいたい。

→○これまで行政として上郷や吉沼といった西側地域への取組が必ずしも多くなかったと感じている。一方で、公共施設を整備すれば地域が活性化するのではなく、公共施設をどのように使うか、施設をきっかけにして地域でどのような活動に取り組むかが、地域活性化に重要なことであると考えている。地域の皆様は、たいへん積極的に楽しみながら活動してもらっている。この整備をきっかけに、地域の力に変えてもらいたい。西側からのアクセスについても、県と協議しながら進めていきたい。

- 大規模事業評価の委員について、建築や土木に精通している先生に入ってもらってはどうか。また、国土交通省などでは、事業の計画段階の評価、新規採択時の評価、5年おきの再評価、事後評価を行うことでPDCAサイクルを行っている。今回は唐突に上郷高校の話が出てきているように見える。

→○場所についての議論はかなり時間をかけて検討してきた。議会からも様々な意見をいただきながら、納得していただいている。策定検討会議においても、熱心な議論をしてきた中で、全員が高エネ研よりも上郷高校跡地にすべ

きという意見をいただいております、このプロセスは重く受け止めなければならないと考えている。議会や策定検討会議で賛否が割れているのであれば、一度立ち止まって声を聞く必要があると思うが、意見が割れていないことについて、再度場所についての比較を0から行うことは、民主主義における議論の積み上げとして説明できないと考えている。評価委員については、プロフェッショナルな方たちだと思うので、第三者の目で見てもらえると考えている。

- 施設のマネジメントについて、しっかりやっていくとのことであったが、施設数が増えることは今の時代なかなか難しいのではないかと。新設校については、プールを一つ作ると聞いている。将来的に負担とならないよう、施設の統廃合などを考えてもらいたい。

→〇つくば市は合併して誕生した街のため、結果として公共施設の数が非常に多い。市民にとっても身近で活発に使われている一方で、これを維持していくことはかなりたいへんである。新設校については学校にプールを作らずに、地域で共同使用できるプールを作ることとした。また、この用地は元々小学校用地であったが、小学校だけでは過密化が解消されないとのことで、別の場所に小中学校を建てることとしたため、ここにプールを建てることとした。長期的な視野でどこを減らさなければならないかについては、減らすことが前提ではないが、検討しなければならないと考えている。